学校番号	T3010

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年又は４年次
使用教科書	「最新政治・経済」（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主に政治、経済と自分との関係を考えてみる。
・日々の出来事のほとんどが、政治や経済の視点を抜きにしては語れないことを理解する。
・広い視野で世界情勢をとらえ、現在と将来の日本の在り方を考える。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて、概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を主体的に考察し公正な判断力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
現実社会の諸課題の解決にむけ、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	政治分野、経済分野それぞれについて、時代背景をふまえた上で理解し、その知識を身につけている。	現代の政治・経済の諸事象を考察し、身近なところで自分の生活に結びついた意見を持つ。	政治・経済の各分野について、制度や組織などのあらゆる事象について積極的に考察するとともに、多角的な視点からアプローチする姿勢を持つ。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代国家と民主政治	・民主政治と法 ・民主政治の基本原理 ・民主政治のしくみと課題 ・世界のおもな政治制度	a: 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b: 民主政治の本質を基に、民主政治のしくみや課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 国民主権を担う公民としての自覚をもとに、民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート 授業への取り組み
	日本国憲法と基本的人権	・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本原理 ・自由に生きる権利 ・平等に生きる権利 ・社会権と参政権・請求権 ・新しい人権 ・人権の広がりと公共の福祉 ・平和主義と自衛隊 ・日米安全保障体制の変化 ・21 世紀の平和主義	a:基本的人権の保障、権利と義務との関係について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b:日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:憲法の最高法規性や日本国憲法の原理、改正手続きなどについて主体的に理解・追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート 授業への取り組み
	日本の政治制度と政治参加	・政治機構と国会 ・内閣と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・地方自治と住民福祉 ・政党政治 ・選挙制度 ・世論と政治参加	a:議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b: 政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c: 日本の政治機構について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート 授業への取り組み

2学期	現代の経済社会	・経済活動の意義 ・経済社会の変容 ・経済主体と市場の働き ・企業の役割 ・国民所得 ・経済成長と国民の福祉 ・金融の役割 ・日本銀行の役割 ・財政の役割と租税 ・日本の財政の課題	a：経済活動と市場、経済主体と経済循環について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b：市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c：市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート 授業への取り組み
	現代の日本経済と福祉の向上	・日本経済の成長と課題 ・中小企業と農業 ・消費者問題 ・公害防止と環境保全 ・労働問題と労働者の権利 ・こんにちの労働問題 ・社会保障の役割と課題	a:国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解している。 b：日本経済の成長と課題、公害防止と環境保全について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c：今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して、よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート 授業への取り組み
	日本経済のあゆみとこれから	・持続可能な地域社会の在り方を考える ・地域における防災を考える ・財政健全化を考える ・持続可能な農業を考える ・ワーク・ライフ・バランスの実現を考える ・持続可能な福祉社会の実現を考える	a：各課題に関連する知識を整理し、理解している。 b：経済関連の事象に関する持続可能性について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c：よりよい社会の実現のために、現代日本の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート 授業への取り組み

3学期	国際政治の動向と課題	・国際社会と国際法 ・国際社会の変化 ・国際連合と国際協力 ・こんにちの国際政治 ・人種・民族問題 ・軍拡競争から軍縮へ ・日本の外交と国際社会での役割	a: 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b: 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを、他者との利害調整といった社会生活に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート 授業への取り組み
	国際経済理論	・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ	a: 貿易の現状と意義、為替相場の変動について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b: 相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 自由貿易を推進するメリットと、近年先進国が保護貿易的な動きを見せていることについて主体的に追究し、望ましい貿易のあり方を意欲的に探究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート 授業への取り組み
	国際経済の動向と課題	・第二次世界大戦後の国際経済 ・国際経済の動向 ・新興国の台頭 ・経済のグローバル化とICTでかわる世界経済 ・発展途上国の課題と展望 ・地球環境問題、資源エネルギー問題 ・経済協力と日本の役割	a:国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b: 国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c: TPP11 や RCEP について主体的に追究し、今後の日本が各国との貿易においてどのように主導的な役割を果たしていくべきか、意欲的に検討しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート 授業への取り組み

	国際社会における諸課題の研究	・難民問題を考える ・外国人労働者との共生を考える ・自動運転技術を考える ・地球環境問題、資源エネルギー問題を考える ・国際経済格差の是正と国際協力を考える ・持続可能の在り方を考える	a: 各課題に関連する知識を整理し、理解している。 b: 社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを表現している。 c: よりよい社会の実現のために、国際社会の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 振り返りシート 授業への取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度